

平成29年度 第2回地域授業改善協議会

組織的な授業改善をするための教頭としての役割

豊後高田市立高田小学校 教頭 榎本正史



豊後高田市高田小学校

職員数 32名

校長 1
教頭 1
指導教諭1
教諭 19
養護教諭1
臨時講師2

特別支援教育支援員 5
校務員 1

図書支援員 1
SC 1
SSW 1

児童数 401名
16学級

年代別

60代 2名
50代 10名
40代 7名
30代 1名
20代 6名

3教職3年以内の教職員が7名
(OJT)

平成29年度 高田小学校行動指針

① 子どもの命・安全・・・何事にも優先

何事にも優先するのは、児童生徒の命・安全。いじめや暴力、差別がなく安心して生活できる教育環境を作ります。

② 授業で勝負・・・未来に向かって～プロとしての誇りを(豊後高田市キーワード)

子どもの生きる力(確かな学力・体力・豊かな心)の育成のため、教材研究・自己研鑽に努め、対話的で深い学びによる授業…アイティブラーニングを追求し、楽しくわかる授業をめざします。プロとしての自覚と責任を持ち、授業・教育を追求します。

③ 礼儀正しさ・・・挨拶・笑顔・アイコンタクト

全ての来校者・電話に対して礼儀正しく誠実な対応をします。周りの人に明るい笑顔で接し、目を見て話すなど、礼儀正しく、まわりに好印象を与える明るい教職員をめざします。

④ あこがれられる先輩・・・チーム高田小

『そう・ほう・れん・そう(相談・報告・連絡・相談)』を常に行い、チームとして組織的に対応します。子どもから、そして教職員の後輩からあこがれられる先輩をめざします。

チーム高小・学習・生活のスタンダードを徹底させよう！！

□運営会議の周知徹底・スタンダードのチェック(金曜日)・連絡帳を活用・通信で保護者の協力

チャイムの合図とともに授業を始める・めあてを明確にした一時間完結型授業・名前の呼び方「○○さん」

□学習規律①起立して、先生の目を見て挨拶②ひじを伸ばして挙手、「ハイ」と返事して起立③話している人の目を見る④椅子に深く座り、背筋を伸ばす。筆箱の中身・正面黑板、前面の掲示物・新出漢字との出会わせ方・音読と教科書・学習ノート・国語辞典、漢字辞典の使用

□あいさつの徹底・てくてくとく運動の推進・生活目標の徹底・特別教室への移動の仕方(2列で静かに)・無言清掃・職員室でのマナー・校舎内ではよくしゃべり、チャイムの合図とともに授業を始める(学び合い、教え合い)・名前の呼び方(よくよく言葉をなくし、よくよく言葉を)



職員室
見える化



- ① 高小スタンダード
- ② 校内研究(協調学習)
- ③ 組織としての授業力向上



①高小スタンダードについての説明(研修)

4月7日



教職員へ



高田小 学習のスタンダード

学習規律(がくしゅうきりつ)

①授業の始まりと終わりの挨拶

- ・起立して挨拶をする。
- ・先生の目を見て礼をする。



②発表の仕方

- ・ひじを伸ばして挙手、指名されたら大きな声で「ハイ」と返事をして起立する。



③話している人の目を見る。



④椅子に深く座り、背筋を伸ばす。

ふでばこの中身(なかみ)

- ・5本程度 (B~3B) 家で削ってくる。・赤鉛筆 1本 (赤ペンでもよい。学年によっては青鉛筆も可。)
- ・よく消える白い消しゴム
- ・定規 (三角定規) 学年によっては名前ペン、マーカー 4色、コンパス、スティックのり、はさみ など



全教室に
掲示

児童へ

高田小 生活のスタンダード

あいさつ・ことばづかい

自分からすすんで挨拶・先生・地域の方に

「〇〇さん」で呼ぼう!

ふわふわことばをつかおう。+



横断歩道や押しボタン渡路では、わたり終ってから礼。



無言清掃(むごんせいそう)

チャイムと同時に始め、一生懸命いっしょにがんばり取の掃除。



てくてくとく運動

黄色い帽子ぼうしをかぶって、歩いて登下校



その他

移動は2列で静かに
机・イスはきちんと

「〇〇できました」
「入ってもよいですか」
「失礼しました」

3年以上で自転車に乗る時、
ヘルメットをかぶりませ



② 校内研究(協調学習による授業改善を中心に)

協調学習(対話を通して協力しながら理解を深め、答えを導こうとする授業形態)

互見授業
【6年 算数】



職員研修の様子 (教職員を子ども役にして)



協調学習

「一人では、十分な考えが出ない」本時の課題

A:一人では十分ではないが、まず一人で考える



① エキスパート活動

それぞれの部品＝「私には言いたいことがある。」

② ジグソー活動

部品の統合＝「私たちの考えは、話し合ってよくなる」

③ クロストーク

統合結果の交流＝「私には、この言い方が納得できる」



B:3つの活動を通してたどり着いた自分の考え

※A → Bへ進化 = 子どもの学び (深い学びへ)

校内研究による授業改善

協調学習による主体的・対話的・深い学び

東京大学(CoREF)飯窪真也先生を迎えて

第一回校内研究会

一般授業7本(国語・算数・社会・理科・音楽など)

提案授業(3年生算数)で授業公開

10月に2回目を予定



教職員も協調学習体験

校内研究による授業改善



協調学習について
の合同研修
他校からも参加
(合計45名)



島原第2小学校の児童を迎えて(協調学習)



③組織的な授業改善にむけて

【別紙様式例1】

豊後高田市立高田小学校 学力向上プラン2(8月)

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語では、読み取る力が弱く、話の内容を相違点や共通点に善目して整理できない。段落相互の関係や事実と意見を考えて読むことが苦手。 ・算数では、基礎力を高め、説明させる活動する必要がある。 <p>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時間完結型や協調学習は取り入れてきたが、落ち着いた雰囲気や十分できいなかったり、「なぜだろう」と自ら課題を追求する姿勢が弱かったりした。 	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読む習慣作りや自力読みができていない。 ・イスの座り方など学習時の姿勢が悪い。 ・個人で考える時間を5分は確保したが、グループ学習等で、児童に表現力や理解力を付けなければならない。 <p>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協調学習など、自分や友達と考えを出し合う場を設定した授業をしているので、児童アンケートで自分の考えを発表できる割合が向上しているが深い考えがまだできていない。
指導の状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5分、15分の時間の設定し、考えを持つための支援(工夫)や考えを交流させる。また、深め合うためのツールの活用等と協調学習を取り入れた授業実践を授業公開日・互見授業・校内研・PTA授業で行う。 ・まとめから課題を設定し、子どもの言葉でまとめる授業を行うとともに、活用問題に生かす説明力をのばす。 <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習規律(高小学習・生活のスタンダード)の徹底・読書タイム(朝15分間・読み聞かせ「お話小箱」) ・チャレンジタイム(国語・算数)・家庭学習の習慣化 	
学力に関する次年度の達成指標	<p>○教職員セルフチェック回答者の割合で、1日に1回以上思考する時間5分、発表・交流活動15分ができたを80%にする。</p> <p>○児童意識調査における回答者の割合を1か月毎のアンケートで授業内容がわかる児童を90%にする。</p> <p>○単元テスト目標値達成率の平均を80%以上にする。</p>	

4点セット 進行管理表1学期 (高田小学校) 平成29年年度(7月31日分)

重点目標	達成指標	担当	4月				5月				6月				7月			
			研修・進研会	5月10日	5月17日	5月24日	5月31日	6月7日	6月14日	6月21日	6月28日	7月5日	7月12日	7月19日	7月26日			
適切な学力の定着	授業内容がよくなる見える児童を90%以上 単元テストで目標達成率を80%以上	研究部一帯岡	口夢岡和子 河野めぐみ 岩本裕子 斎藤あゆ 七森桂代 宮久一恵 末保正一	高小スタンダード 授業指導	4点セット取り組み指導員 (4月21日 分掌会議)	取組確認 5月18日(月) 14:20 分掌会議	高小スタンダードの取組 ○習得する時間30分 活動する時間15分の取組(給食学習)	取組確認 5月25日(月) 14:20 分掌会議	高小スタンダードについてアエロの取組 (5月28日 分掌会議)	取組確認 6月4日(月) 14:20 分掌会議	高小スタンダードのアエロの取組 (6月21日 分掌会議)	7月11日 第1日 校内研究会	1学期単元テスト等の集計 (全学年) 目標達成率達成 担当(平岡)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)		
					5月見直し	5月見直し	(ひききのはして筆字、海老さくらら取組をする。)の取組	(新着している人のほかにみて関心の取組)	7月11日 第1日 校内研究会	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)								
心豊かな子どもの育成	教職員・児童アンケート「特別除「言葉遣い」「あいさつ」の項目が「きちんとできている」が90%以上	教務主任(一) 帯岡一	生活指導部一 松本	口松本晴美 斎藤麻衣 高城帆 岸若明穂 松本直美 大西真二	無言清掃 あいさつ運動の取組	無言清掃 あいさつ運動の取組	無言清掃 (掃除の仕方取組) あいさつ運動 (裏V取組)の取組	無言清掃セルフアエロの集計 (5月28日 分掌会議)	無言清掃セルフアエロの集計 (6月21日 分掌会議)	無言清掃セルフアエロの集計 (6月21日 分掌会議)	無言清掃セルフアエロの集計 (6月21日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)			
					無言清掃 あいさつ運動の取組	無言清掃 あいさつ運動の取組	無言清掃 (掃除の仕方取組) あいさつ運動 (裏V取組)の取組	無言清掃セルフアエロの集計 (5月28日 分掌会議)	無言清掃セルフアエロの集計 (6月21日 分掌会議)	無言清掃セルフアエロの集計 (6月21日 分掌会議)	無言清掃セルフアエロの集計 (6月21日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	
運動好きな子どもの育成	運動や休むが好きな見える児童が90%以上 体力運動能力テストで全国平均75%以上	体育部一 渡邊	口渡邊康太郎 園田衣里 河野界 若林悦々美 伊藤絵 中園美香 佐藤公彦 佐藤公彦 晴枝由美子	チャレンジタイム 取組	チャレンジタイム 取組	体力チャレンジタイム の取組	体力チャレンジタイム の取組	体力チャレンジタイム 取組	体力チャレンジタイム 取組	体力チャレンジタイム 取組	体力チャレンジタイム 取組	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)			
					4点セット取り組み指導員 (4月21日 分掌会議)	取組確認 5月18日(月) 14:20 分掌会議	5月取組の裏V取組 (5月28日 分掌会議)	5月取組の裏V取組 (5月28日 分掌会議)	5月取組の裏V取組 (5月28日 分掌会議)	5月取組の裏V取組 (5月28日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)	7月分セルフアエロの集計 (7月14日 分掌会議)
運営委員会 月曜10:15~			4月3~7日 4月17日、4月20日、	5月3日	5月22日 (月)	予備 5月29日	6月2日	6月14日	6/28(月) 保護者総会後?	7月2日	7/10 (予備)	7月18日						
目標管理特			目標管理シート作成 重点・分掌・特色目標			第1期 特色目標の設定			中間評価(評価)提出									

4点セット 進行管理表1学期（高田小学校） 平成29年年度(7月3日分)

重点目標	達成指標	担当	4月	5月				6月				7月				
			研修・連絡会→	5月10日	5月17日	5月24日	5月31日	6月7日	6月14日	6月21日	6月28日	7月5日	7月12日	7月19日	7月26日	
確かな学力の定着 授業内容がよくわかると答える児童を90%以上 単元テストで目標達成を80%以上	研究部（春岡）	◎春岡和子 河野めぐみ 岩本裕子 斎藤路世 七森桂代 宮久一恵 安藤正一	高小スタンダード 提案・指導	学習規律の徹底 高小スタンダード	○高小スタンダードの徹底 ○思考する時間5分 活動する時間15分の徹底（協調学習）	互見授業	（ひじをばして挙手、指名されたら返事をする。）の徹底	互見授業	（話をしている人のほうをみて聞く）の徹底	7月11日 第1回 校内研究会	1学期単元テスト等の集計（全学年） 目標達成率達成 担当（平岡）	ステップアップ①②③	4点セット取り組み指標提案（4月21日） 取組確認 5月15日（月） 14:20 分学会議 学習スタンダードについてチェック表集約（5月26日 分学会議） 板書を写真に残す 学習スタンダードのチェック表集約（6月21日） 板書を写真に残す	学校評価委員会アンケート実施 学校評価委員会（春岡・河野）	7月分セルフチェック集約（7月14日 分学会議）	無言清掃
		◎松本晴美														

職員室入口に掲示し、「見える化」



「研究部」

分掌会議報告(7月)

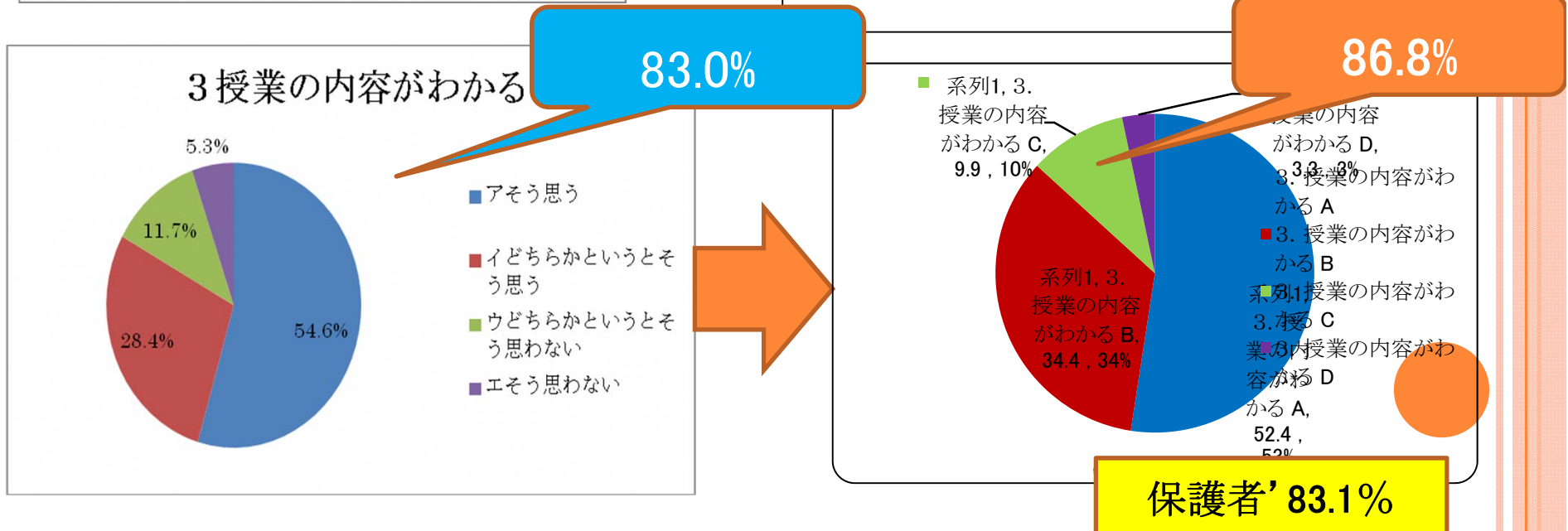
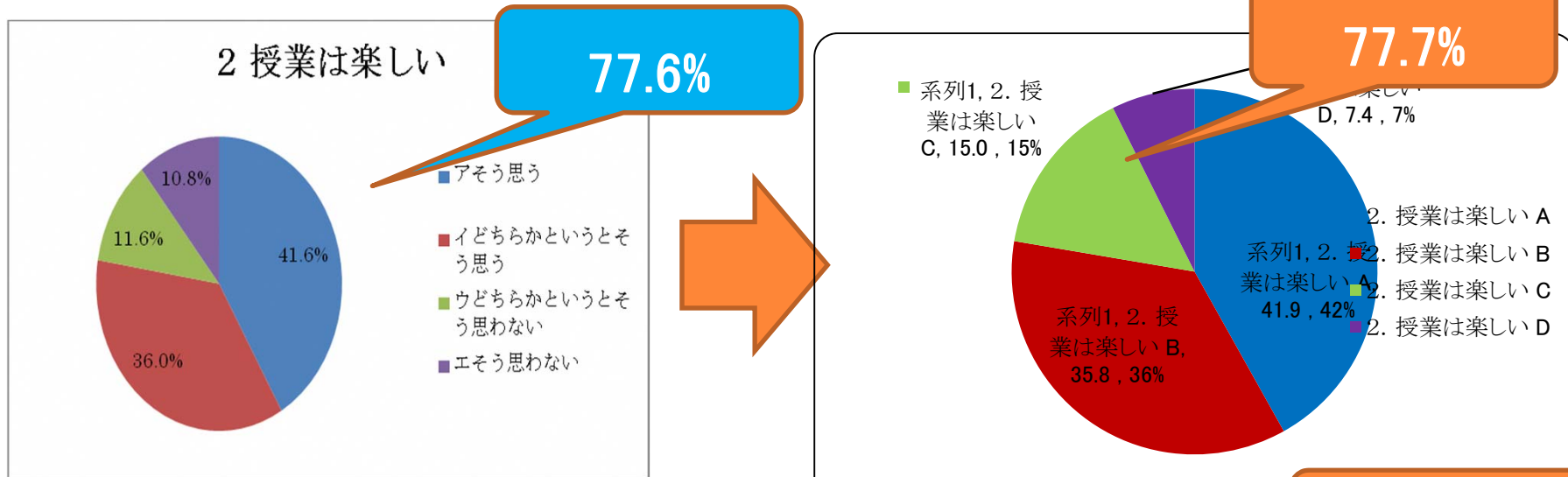
①9月の取り組み

- ・学習スタンダードのチェック表により、月に一度**教職員**が振り返りを行い改善していく。
- ・学習規律、筆箱の中身については、週一度**児童**に自己評価させる。
- ・9月は、「話している人の方をみて聞く」に焦点をあてる。
(運動会の練習とあわせて)
- ・板書記録(写真)は、学年部会で交流できるようにフォルダに整理する。

②宿題のチェックについて(省略)

③1学期児童アンケートより(省略)

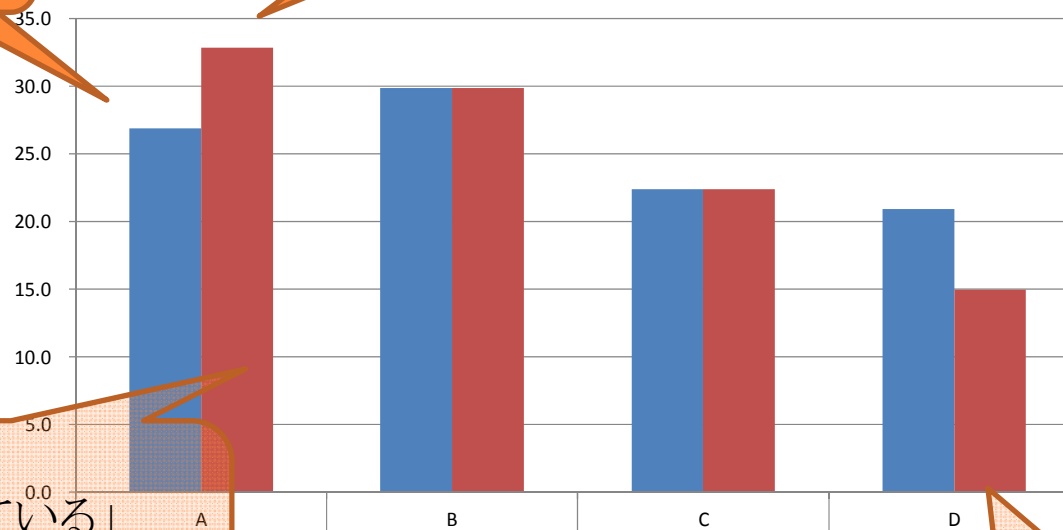
児童アンケートから(5月→7月) 『そう思う』『どちらかというと思う』合わせると



授業中、自分の考えを発表していますか。

5月

7月



「発表している」
Aが5ポイントふえる。

5. 授業中、自分の考えを発表している

「発表していない」
Dが5ポイントへる。

3年生



授業改善にむけて教頭の役割

①誰が、何を、いつまでに行うかをはっきりさせ、教職員に見通しを持たせる。(見える化・進捗状況の確認)

- ・指導案作成
- ・指導案のチェック
- ・板書写真保存の声かけ

②授業観察等を通して、教職員への声かけ

- ・児童の学びの様子をフィードバック(授業観察)
- ・校内研と日常の授業をつなぐ声かけ(取組の交流)
- ・モチベーションの確保(日頃からのコミュニケーション)

③データ・資料の提供

- ・各種アンケート
- ・各種テスト結果
- ・県の方針

④他組織との連携

(各研究部会、学びの昭和館、学びの21世紀塾)

- ・研修参加・複数での指導をとおして授業改善へ



⑤学校長の方針に沿って、教務主任、研究主任との細かな打ち合わせ

成果として言えそうなこと

- ・協調学習の研究をおこなう中で、校内教科部会が活性化してきた。
→ 職員室センターテーブルでの話し合い
- ・職員室で授業改善に向けての会話が増えてきた。(OJT)
- ・協調学習が子どもたちが落ち着いて授業に向かうための一つの手段として使えそうだという見通しがもてた。
- ・「授業の内容がわかる」と答えた児童が増えた。

校内研を終えて(教職員のふりかえりより)

- ・友だちの考えを取り入れて発表しようとする児童がふえた。
- ・難しい問題に挑戦しようとする姿がみられた。
- ・学習意欲が持続した。
- ・授業前と比べて、授業後の考えに深まりがみられた。
- ・授業から逃げる児童が減ってきた。

今後の取り組み

- ①学校評価の4点セット進行管理表の浸透(計画性)
 - 第2回校内研究会に向けての計画的取り組み
 - 分掌部会の自主的取り組みへ
- ②教科部会での若手の育成(OJT)
- ③子どもの実態の変化をみる指標の精選(データ活用)
- ④働き方改革(効果的・効率的な研修)
 - 日々の退庁時刻と授業改善の推進との兼ね合い